

# 交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。  
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

## 三菱UFJ 資産設計ファンド (バランス型)

追加型投信／内外／資産複合



第47期末 (2019年1月9日)	
基準価額	9,229円
純資産総額	1,812百万円
第46期～第47期	
騰落率 (上昇率・下落率)	-6.0%
分配金合計 (*)	60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 各期の分配金を合計したものです。

第46期 (決算日: 2018年10月9日)

第47期 (決算日: 2019年1月9日)

作成対象期間

(2018年7月10日～2019年1月9日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、着実な値上がり益の獲得と安定した収益の確保をめざすことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

(注) 当運用報告書の本文におきましては、指定投資信託証券の名称について「(適格機関投資家専用)」、「(適格機関投資家限定)」の表記を省略させていただきます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書(全体版)を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間: 営業日の9:00~17:00、  
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第46期～第47期: 2018/7/10～2019/1/9)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.0% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

下落要因

組み入れを行った指定投資信託証券のうち、海外株式、日本株式などの資産クラスが下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2018年7月10日～2019年1月9日）

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。


項目	第46期～第47期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	51円	0.517%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(22)	(0.223)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(27)	(0.272)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	6	0.062	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.057)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	57	0.583	
作成期中の平均基準価額は、9,789円です。			

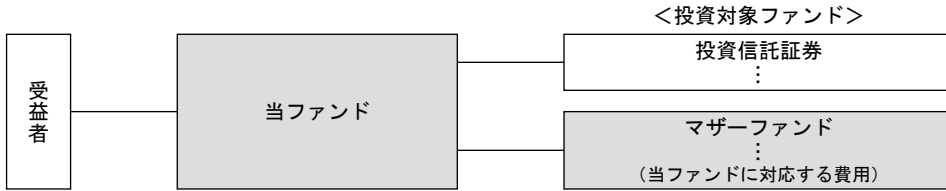
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【費用開示の仕組み】

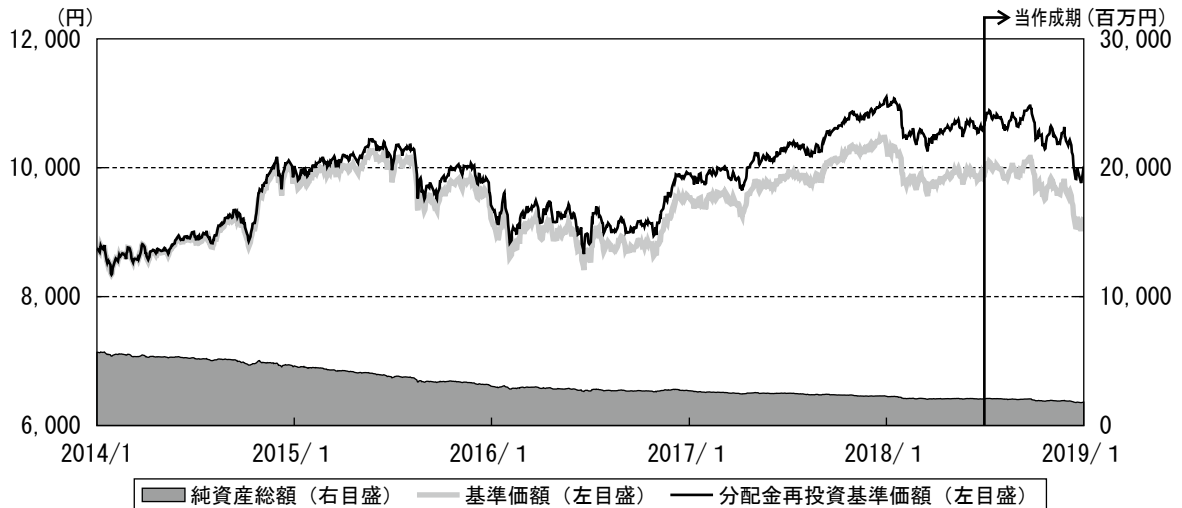
下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



当ファンドの費用に関する情報を後記「<ご参考>当ファンドに関わる費用について」に記載していますので、ご確認ください。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年1月9日～2019年1月9日)



・分配金再投資基準価額は、2014年1月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/1/9 期初	2015/1/9 決算日	2016/1/12 決算日	2017/1/10 決算日	2018/1/9 決算日	2019/1/9 決算日
基準価額 (円)	8,744	9,893	9,114	9,527	10,350	9,229
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	315	120
分配金再投資基準価額騰落率	—	14.6%	-6.7%	5.9%	12.0%	-9.7%
純資産総額 (百万円)	5,678	4,622	3,020	2,690	2,262	1,812

・ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドは、投資信託証券への分散投資を行うことで信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をはかることを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**投資環境について**

（第46期～第47期：2018/7/10～2019/1/9）

**【概況】**

当作成期において、株式市場は日本、海外先進国、新興国のいずれも下落しました。債券市場は米国やドイツなどの長期金利が低下しました。リート市場は、日本では上昇した一方、海外先進国では下落しました。為替市場は、米ドル、ユーロともに対円で下落しました。

**【株式】**

日本株式、海外先進国株式およびエマージング株式は、世界経済に対する先行き不透明感の高まりや米中貿易摩擦問題などを背景に投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けて、いずれの市場も下落しました。

**【債券】**

海外先進国では、軟調な株式市況などを背景に米国やドイツなどの長期金利が低下しました。日本では2018年7月に日銀が金融緩和策を修正したことが金利上昇要因となったものの、軟調な株式市況などが金利低下要因となり、当作成期首と同程度の水準で当作成期末を迎えました。エマージング債券のスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

**【リート】**

リート市場は、まちまちな動きとなりました。日本では海外投資家からの需要などを背景に上昇しました。一方で、米国や欧州では投資家のリスク回避姿勢の強まりなどを背景に下落しました。

**【為替】**

米ドルおよびユーロは、軟調な株式市況などを背景に安全資産として円に対する需要が高まったことを受けて、対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### ◎組入比率

当作成期を通じて、投資信託証券を高位に組み入れた運用を行いました。なお、三菱アセット・ブレインズの助言に基づき、以下の変更を行いました。日本株式において、「三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF」の比率を引き上げた一方、「GIMザ・ジャパン」の比率を引き下げました。海外債券においては、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル（除く日本）債券ファンドー2」から「グローバル債券コア・ファンド」へ入替えを行いました。当ファンドの各月末での指定投資信託証券への投資割合は次表をご参照ください。

### ◎パフォーマンス要因

当作成期は、株式市場は日本、海外先進国、新興国のいずれも下落しました。債券市場は米国やドイツなどの長期金利が低下しました。リート市場は、日本では上昇した一方、海外先進国では下落しました。為替市場は、米ドル、ユーロともに対円で下落しました。このような投資環境の下、組み入れを行った指定投資信託証券のうち、海外株式、日本株式などの資産クラスが基準価額に対してマイナスに影響し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。なお、各資産クラスの基本投資割合は、特に変更していません。

## (ご参考) 指定投資信託証券別組入比率表

(%)

資産	基 本 投 資 割 合	資 産 ク ラ ス	基 本 投 資 割 合	指 定 投 資 信 託 証 券	2018年 7月 末	8月 末	9月 末	10月 末	11月 末	12月 末	騰 落 率 (2018年7月末~12月末)	運 用 会 社 (再 委託 会 社)		
株	40	日本株式	10	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF	2.0	2.0	2.0	1.8	3.8	4.1	-17.9	三菱UFJ国際投信		
				ストラテジック・バリュミュー・オープンF	3.9	3.9	4.0	3.7	3.8	3.8	-13.4	野村アセットマネジメント		
				GIMザ・ジャパン	4.0	4.1	3.9	3.7	1.9	2.0	-23.3	JPMorgan・アセット・マネジメント		
		海外株式	25	GIM海外株式・ダイナミック・ファンドF	9.9	9.9	10.1	10.0	9.9	9.7	-11.2	JPMorgan・アセット・マネジメント		
				MFS外国株グロース・ファンドF	14.9	15.0	15.0	14.8	15.0	14.8	-7.4	MFSインベストメント・マネジメント		
		エマージング株	5	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	-8.8	シュローダー・インベストメント・マネジメント		
				GIMエマージング株式ファンドF	2.9	2.8	2.9	2.8	3.0	2.9	-7.3	JPMorgan・アセット・マネジメント		
		債	40	日本債券	10	三菱UFJ 日本債券ファンドF	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	0.0	三菱UFJ国際投信
ノムラ日本債券オープンF	5.0					5.0	5.0	5.1	4.8	4.8	0.1	野村アセットマネジメント		
海外債券	20			アライアンス・バースタイン・グローバル(除く日本)債券ファンド-2	19.6	19.7	19.8	19.9	0.1	-	※-	アライアンス・バースタイン		
				グローバル債券コア・ファンド	-	-	-	-	19.5	19.8	※-	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント		
エマージング債券	5			アライアンス・バースタイン・エマージング市場債券ファンドB	5.0	5.0	5.1	5.0	4.9	5.1	0.1	アライアンス・バースタイン		
ハイイールド債券	5			インベスコ・グローバル・ハイ・イールド・ファンドF	5.0	4.9	4.9	5.1	5.0	5.1	-1.4	インベスコ・アセット・マネジメント		
オルタナティブ資産	20			不動産投資信託	10	ワールド・リート・マザーファンド	5.0	4.9	4.8	5.1	5.1	4.7	-6.1	三菱UFJ国際投信(シービーアールイー・クラリオン・セキュリテーズ・エルエルシー)
						MUAM G-R-E-I-Tマザーファンド	4.8	5.0	4.9	5.1	5.1	4.7	-6.0	三菱UFJ国際投信
		絶対収益追求型運用	10	グローバル・アセット・モデル・ファンドF	9.9	9.7	9.6	10.1	9.7	10.3	0.9	野村アセットマネジメント		

(注) 数値は純資産総額に対する投資割合。

(注) ワールド・リート・マザーファンドおよびMUAM G-R-E-I-Tマザーファンドについては、親投資信託の評価額で示しています。

(注) 騰落率は直近月末を起点とした過去6ヵ月間を示したもので、各投資信託証券の評価対象日(当ファンドへの実質的な反映日)に基づいて算出しています。従って、当ファンドの計算期間とは異なります。

(注) ※は過去6ヵ月間のデータがないため、騰落率を表示できません。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、投資信託証券への分散投資を行うことで信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をはかることを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第46期	第47期
	2018年7月10日～2018年10月9日	2018年10月10日～2019年1月9日
当期分配金	30	30
（対基準価額比率）	0.302%	0.324%
当期の収益	26	22
当期の収益以外	3	7
翌期繰越分配対象額	561	554

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

- ・資産クラスごとに、定量・定性の両面から高く評価できるファンドを中心に組み入れ、効率的なリスク・リターン特性を持つファンド・ポートフォリオの構築をめざします。
- ・投資対象ファンドの選定にあたっては、パフォーマンスデータを基にした定量分析に加え、ファンドマネジャーへのインタビューなどを通じ徹底した定性評価を行い、投資ファンドを厳選します。
- ・資産クラスごとに組み入れたファンド全体で、それぞれが投資する市場の収益率を上回ることをめざし、ファンドの投資割合を策定します。
- ・資産クラスごとに組み入れたファンドのリスクが、それぞれの市場のリスク特性から大きく外れないように全体として各ファンドの組入比率を調整し、リスク管理を行います。

## お知らせ



受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年10月6日）
- ・投資対象とする指定投資信託証券にグローバル債券コア・ファンド（適格機関投資家専用）を追加するため、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年10月6日）

### ◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>)にて開示を行っている場合があります。

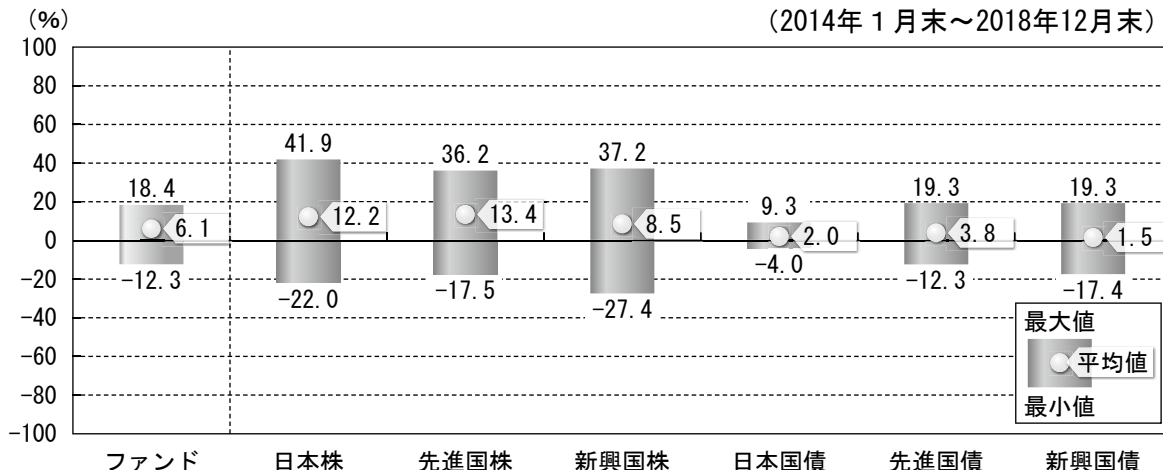
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2007年3月28日設定）
運用方針	<p>主として、国内外の各株式、国内外の各債券、世界の不動産投資信託証券について各資産を実質的な投資対象とする投資信託証券、ならびに国内外の株式・債券の先物取引、為替予約取引等を実質的な投資対象とし絶対収益の獲得をめざす投資信託証券に投資します。各資産毎の投資信託証券への配分比率は、信託財産の純資産総額に対して以下の比率とすることを基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として株式を実質的な投資対象とする投資信託証券…概ね40%程度</li> <li>・主として債券を実質的な投資対象とする投資信託証券…概ね40%程度</li> <li>・主として不動産投資信託証券を実質的な投資対象とする投資信託証券および絶対収益の獲得をめざす投資信託証券…概ね20%程度</li> </ul> <p>投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の中から、分散して投資を行います。また各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。指定投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資信託証券が指定投資信託証券から外れることや、新たに指定投資信託証券に指定されることがあります。また、投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。</p>
主要投資対象	別に示した投資対象ファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、着実な値上がり益の獲得と安定した収益の確保をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定するものとします。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2014年1月末～2018年12月末)



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

日本国債：NOMURA-BPI (国債)

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2019年1月9日現在)

#### 組入ファンド

(組入銘柄数：15銘柄)

	第47期末 2019年1月9日	
<input checked="" type="checkbox"/> グローバル債券コア・ファンド	19.2%	
<input checked="" type="checkbox"/> MFS外国株グロース・ファンドF	15.2%	
<input checked="" type="checkbox"/> G I M 海外株式・ダイナミック・ファンドF	10.3%	
グローバル・アセット・モデル・ファンドF	9.6%	
MUAM G-REITマザーファンド	5.0%	
インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ファンドF	4.9%	
ノムラ日本債券オープンF	4.8%	
アライアンス・パーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB	4.8%	
三菱UFJ 日本債券ファンドF	4.8%	
ワールド・リート・マザーファンド	4.7%	
三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF	4.1%	
ストラテジック・パリュウ・オープンF	3.9%	
G I Mエマージング株式ファンドF	2.9%	
G I M ザ ・ ジャパン	2.0%	
シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF	1.9%	

#### 純資産等

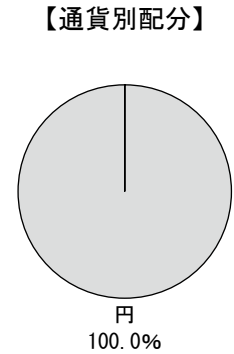
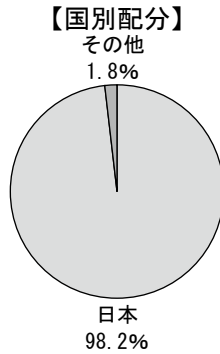
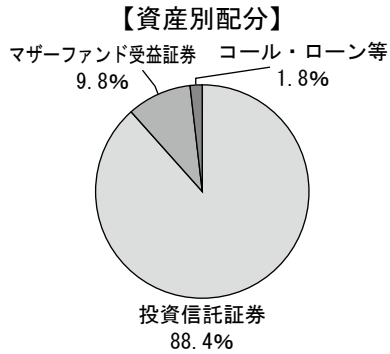
項目	第46期末 2018年10月9日	第47期末 2019年1月9日
	純資産総額	1,970,317,869円
受益権口数	1,989,171,432口	1,963,520,805口
1万口当たり基準価額	9,905円	9,229円

- ・ 当作成期間中（第46期～第47期）において追加設定元本は6,826,522円  
同解約元本は132,537,149円です。

- ・ 比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。
- ・ 上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

上記  の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

## 種別構成等



- ・ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・ 国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・ 【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

### グローバル債券コア・ファンド

(2018年6月15日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入ファンド

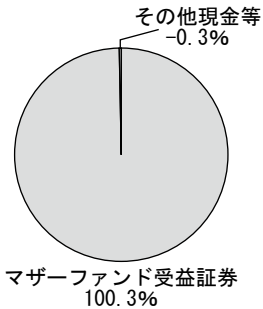
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第2期末 2018年6月15日
グローバル・アグリゲート (除く日本) マザーファンド	100.3%

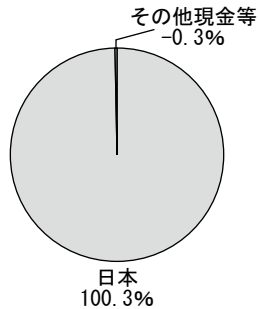
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

#### 種別構成等

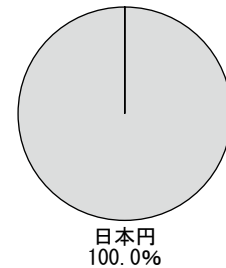
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期 2017年6月16日~2018年6月15日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	56円	0.551%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(49)	(0.486)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
(販売会社)	( 2)	(0.022)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
(受託会社)	( 4)	(0.043)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.014	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	( 1)	(0.014)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用	3	0.033	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.019)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
(監査費用)	( 1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 1)	(0.007)	法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	60	0.598	
期中の平均基準価額は10,129円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 組入上位ファンドの概要

### グローバル・アグリゲート (除く日本) マザーファンド

(2018年6月15日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入上位10銘柄

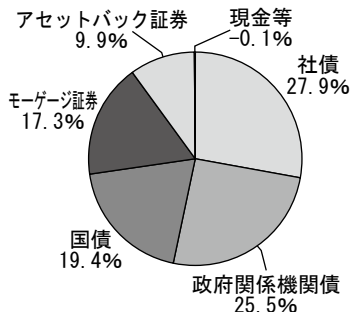
(組入銘柄数：596銘柄)

銘柄	種別	通貨	比率
1 欧州評議会開発銀行 0.125% 2023年5月25日	政府関係機関債	ユーロ	3.0%
2 ジニーメイ 4% 2048年6月1日	モーゲージ証券	米ドル	2.2%
3 ジニーメイ 4% 2048年8月1日	モーゲージ証券	米ドル	2.2%
4 アジア開発銀行 0.2% 2023年5月25日	政府関係機関債	ユーロ	2.0%
5 フレディマック 6.75% 2031年3月15日	政府関係機関債	米ドル	1.8%
6 イギリス国債 4.25% 2046年12月7日	国債	イギリスポンド	1.7%
7 ドイツ復興金融公庫 3.5% 2021年7月4日	政府関係機関債	ユーロ	1.6%
8 イタリア国債 0.7% 2020年5月1日	国債	ユーロ	1.5%
9 ドイツ復興金融公庫 2.5% 2022年1月17日	政府関係機関債	ユーロ	1.4%
10 フランス国債 2.75% 2027年10月25日	国債	ユーロ	1.4%

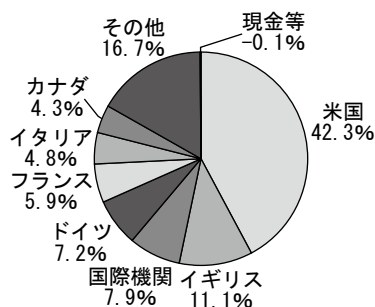
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

#### 種別構成等

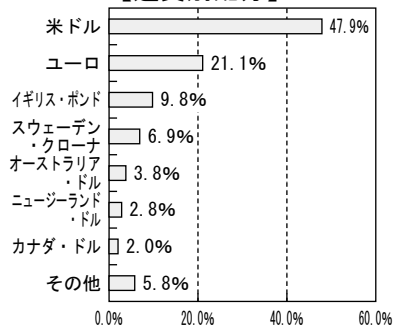
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期 2017年6月16日~2018年6月15日		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	3円	0.014%	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.014)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用	4	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.018)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	7	0.033	
期中の平均基準価額は21,506円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

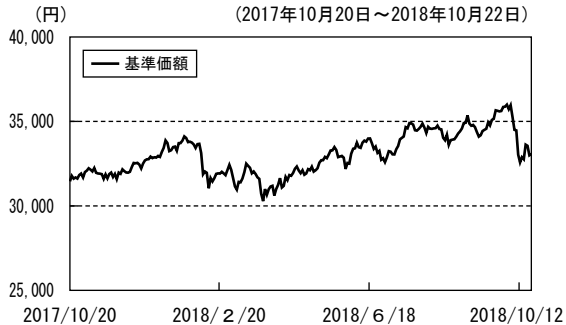
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 組入上位ファンドの概要

### MFS外国株グロス・ファンドF

(2018年10月22日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入ファンド

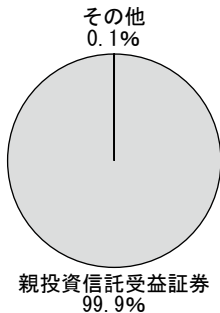
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第10期末 2018年10月22日
MFS外国株グロス マザーファンド	99.9%

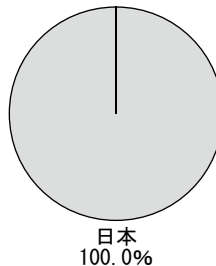
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

#### 種別構成等

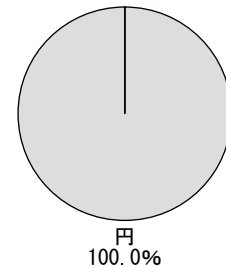
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月21日～2018年10月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	282円	0.855%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(269)	(0.814)	委託した資金の運用の対価 口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	( 7)	(0.022)	
(受託会社)	( 6)	(0.018)	
(b) 売買委託手数料	9	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 9)	(0.026)	
(c) その他費用	60	0.181	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 27)	(0.083)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	( 26)	(0.079)	
(その他)	( 6)	(0.020)	
合計	351	1.062	
期中の平均基準価額は、32,984円です。			

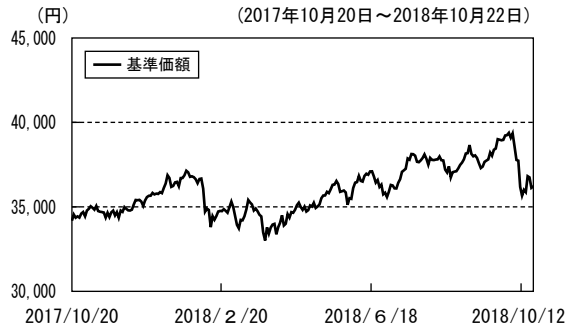
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入上位ファンドの概要

### MFS外国株グロース マザーファンド

(2018年10月22日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入上位10銘柄

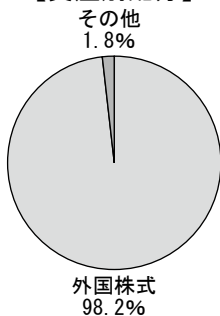
(組入銘柄数：82銘柄)

	銘柄名	種別	国	比率
1	ALPHABET INC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカ	3.9%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	3.0%
3	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.2%
4	STARBUCKS CORP	消費者サービス	アメリカ	2.1%
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	台湾	2.1%
6	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	スイス	2.0%
7	AON PLC	保険	アメリカ	2.0%
8	COMCAST CORP-CLASS A	メディア	アメリカ	2.0%
9	BAYER AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ドイツ	1.9%
10	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	家庭用品・パーソナル用品	イギリス	1.9%

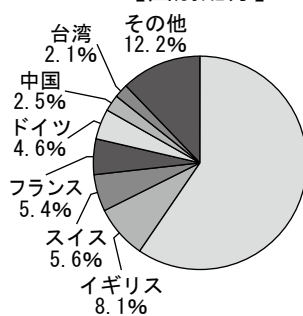
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

#### 種別構成等

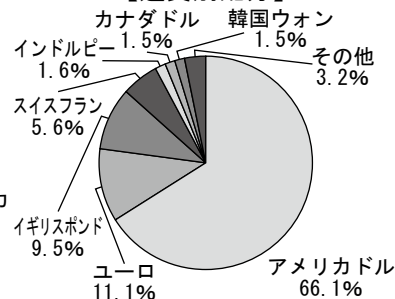
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・国別配分において、コール・ローン等は「その他」に分類しています。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月21日～2018年10月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	9円	0.026%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 9)	(0.026)	
(b) その他費用	37	0.101	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(30)	(0.083)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 7)	(0.019)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	46	0.127	
期中の平均基準価額は、35,971円です。			

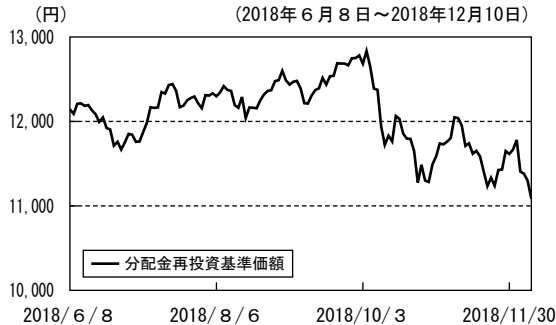
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入上位ファンドの概要

### GIM海外株式・ダイナミック・ファンドF

(2018年12月10日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入ファンド

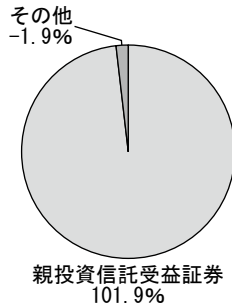
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第24期末 2018年12月10日
GIMコクサイ・ダイナミック・マザーファンドⅡ	101.9%

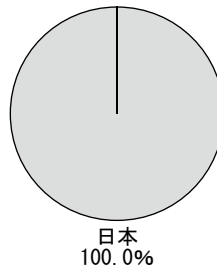
・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

#### 種別構成等

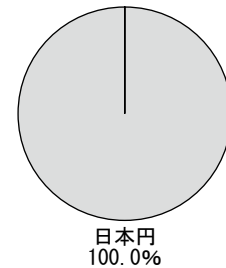
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。
- ・国別配分は発行国を表示しています。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期 2018年6月9日~2018年12月10日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	51円	0.427%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率、期中の平均基準価額（月末値の平均値）は12,041円です。
(投信会社)	(46)	(0.383)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販売会社)	( 1)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受託会社)	( 5)	(0.038)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.023	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]}$ 有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(株式)	( 3)	(0.021)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.002)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.015	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 2)	(0.015)	
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	23	0.195	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]}$
(保管費用)	(22)	(0.184)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監査費用)	( 1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	79	0.660	

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 投資信託証券とは、投資信託受益証券および投資証券の総称です（以下同じ）。



## 組入上位ファンドの概要

### GIMコクサイ・ダイナミック・マザーファンドⅡ

(2018年10月9日現在)

#### 基準価額の推移



#### 組入上位10銘柄

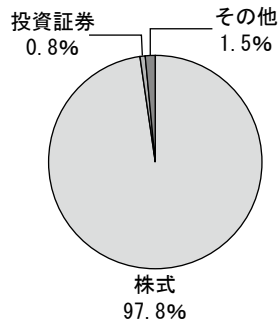
(組入銘柄数：182銘柄)

	銘柄	種類	国	比率
1	APPLE INC	株式	アメリカ	3.8%
2	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	2.4%
3	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	2.1%
4	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	2.0%
5	THE BOEING COMPANY	株式	アメリカ	1.5%
6	BANK OF AMERICA CORP	株式	アメリカ	1.5%
7	CHEVRON CORP	株式	アメリカ	1.5%
8	CITIGROUP INC	株式	アメリカ	1.3%
9	AMGEN INC	株式	アメリカ	1.3%
10	ABBVIE INC	株式	アメリカ	1.2%

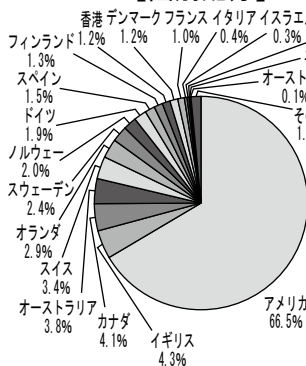
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

#### 種別構成等

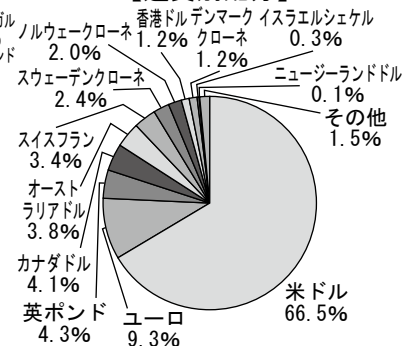
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・その他は現金・預金・その他の資産(負債控除後)です。
- ・国別配分は発行国を表示しています。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2017年10月11日～2018年10月9日	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	8円	0.043%
(株式)	( 7)	(0.041)
(投資信託証券)	( 0)	(0.002)
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	4	0.025
(株式)	( 4)	(0.025)
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)
(c) その他費用	47	0.262
(保管費用)	(43)	(0.239)
(その他)	( 4)	(0.022)
合計	59	0.330

(2017年10月11日～2018年10月9日)

- (注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。
- (注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
- (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注) 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は17,808円です。
- (注) 投資信託証券とは、投資信託受益証券および投資証券の総称です（以下同じ）。

### 〈ご参考〉当ファンドに関わる費用について

ファンド名称 (当ファンド)	対象期間	費用合計 (年率)
三菱UFJ 資産設計ファンド (バランス型)	2018年7月10日 ～2019年1月9日	1.16%

ファンド名称 (組入上位ファンド)	対象期間	費用合計 (年率)
グローバル債券コア・ファンド	2017年6月16日 ～2018年6月15日	0.60%
MFS外国株グロース・ファンドF	2017年10月21日 ～2018年10月22日	1.06%
GIM海外株式・ダイナミック・ファンドF	2018年6月9日 ～2018年12月10日	1.30%

(注) 当ファンドの費用合計 (年率) は、当ファンドの「1万口当たりの費用明細」に記載された合計の比率を年率換算したものであり、実際に年間で発生した費用ではありません。

(注) 組入上位ファンドの費用合計 (年率) は、「組入上位ファンドの概要」の「1万口当たりの費用明細」に掲載されている各費用項目の合計の比率であり、当ファンドの対象期間とは異なる場合があります。また、対象期間が1年超・未満の場合には年率換算して表示しています。

## 指数に関して

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。